

ペンネーム	juuza
-------	-------

【エピソードのタイトル】

【エピソードの内容】

私達ランナーと同級生の応援団が参加する下関海響マラソンで何か出来ないか?!

ささやかでも、僅かでも、微力でも、自分達に出来る事は無いのか?!

そして「被災者、被災地へエールを送ろう」と企画して作った手作りの「黄色いリボン」。

僅か 10 数センチの小さなリボンですが、一つ一つ気持ちを込めて書きました。

「がんばろう！日本」と。

賛同して頂いて一緒に走ったランナーの皆さんへ

走ってる時、目にしました。

目頭が熱くなりました。

皆さんの優しさに感謝です。

それと応援に来ていた「お母さん」、

「それは、ランナーの方だけ付けるのですか?」

「私達も東北の皆さんにエールを送りたい。」

「私達も賛同するので分けて下さい、家族 10 人で来てます。」

と、熱く語り掛けて下さった「お母さん」。

お母さんの熱意と優しさに感謝です。

更に 1F に居たボランティアスタッフの方、リボンの数を見て、「そこに置いて良いよ」と、声を掛けて貰いました。

そして(更に)多くのランナーに呼び掛けて頂きました。

ご迷惑を掛けた上に、呼び掛けまでして頂いて感謝です。

皆さんの仲間を思う気持ち、熱意、優しさを改めて教えて頂き、私達が「感動」を貰いました。

(この場をお借りして、)

黄色いリボン作りに協力してくれた同級生とその家族、大会当日、リボンを付けて頂いた方々、リボンの事を強くアピールして頂いたボランティアスタッフの方々、皆さんに「感謝」します。

本当に有難うございました。